

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 310 号	氏名	小坂 太一郎
学位審査委員	主 査	下川 功	
	副 査	田口 尚	
	副 査	上平 憲	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、膵胆管合流異常（以下 PBM）患者における胆道癌リスク増加の要因として、<i>Helicobacter bilis</i>（以下 <i>H. bilis</i>）の関与を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 PBM 患者と対照患者からえられた胆汁、胆嚢、肝外胆管組織から DNA を抽出し、<i>H. bilis</i>-16S-rRNA 特異的プライマーを用いた PCR 法にて <i>H. bilis</i> DNA の存在を検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、PBM 患者胆道内に <i>H. bilis</i> DNA を高率に同定した。また、PBM 患者の小児期から高率に検出されることを明らかにし、胆道内持続感染と胆道癌の発生を示唆した点で、高く評価できる。</p> <p>以上のように本論文は胆道癌発生機序の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			